授業づくり研修講座　実践レポート

座間市立栗原小学校　高山　文輝

単元名　第４学年　「お気に入りの場所」

実践のポイント（工夫）

・学区内でのお気に入りの場所について、理由を書き出していく（下書き）。

　→文章での明記・箇条書きでの明記どちらでも可とした。

・伝えたいことの順序を整理させる。

　→書く順番に番号をつけた。

・書く内容に「一つ目は・・・。二つ目は・・・。」など、書き出しに工夫をもたせる。

　→内容が整理され、読み手にも伝わりやすくなった。

実践内容

（１）学区内のお気に入りの場所を決めて、クラス内で紹介しあう見通しを持つ。

（２）下書きをする。

1. 場所を決めて、理由を書き出す。場所が決まらない児童にはウェビングを行い視覚的な手立てを行う。
2. 理由付けを整理し、書く順序を明確にする。
3. 書く順序が決まったら、書き出しを工夫する。

（３）完成した文を読み直したり、友達に聞いてもらったりして推敲する。

（４）清書をし、クラスで発表する。

成果

　・学区内の場所を紹介したので、聞いた児童が遊びに行くこともでき、場所を知っている児童は相談タイムでアドバイスすることもできた。

　→自分の書く情報を増やすことができた。

　・イメージがわかない児童にはウェビングを行うことで何が書けるかイメージすることができた。

　→考えを図面化することで視覚的効果をはかることができた。

　・書く順番を決めることにより、読む内容を整理することができた。

　→書くことが苦手な児童も粘り強く取り組むことができた。

　・整理して書いたことにより、自信をもって発表することができた。

課題

　・書く順番を決めたことで読みやすく、聞きやすくなったが、時系列になっていない部分もあったので時間の流れも下書き時に工夫させていきたい。

　・理由付けの文章を深めるとさらに伝わりやすい文章になったので、学び合い等を活用して書く内容を増やしていきたい。